

# 身近なところで活躍中！ えひめの「地域おこし協力隊」

## まちから移住してきた人たちが 地域のためにがんばっています

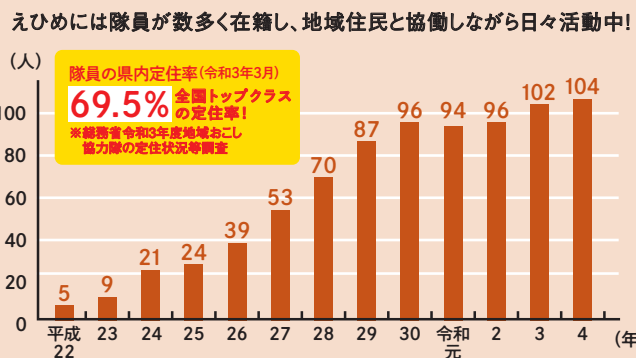
### 各自自治体から委嘱を受け 地域づくりに貢献する存在

「地域おこし協力隊」とは、都市地域から移住してきた人が各自自治体の委嘱を受け、地域づくりの担い手となる制度。およそ3年の任期ののちは、その地域に定住することも目的としています。

活動内容は、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援など多岐にわたります。隊員は自身の知識や経験を活かしながら、行政ではできなかった柔軟な地域おこし策にチャレンジ。その行

動力と熱意が地域づくりにより良い変化をもたらすきっかけになると期待されています。

### 県内の地域おこし協力隊 隊員数の推移 (令和4年4月現在)



### えひめで活動しています! 地域おこし協力隊



ひょうどう みきひろ  
兵頭 未来洋さん  
今治市吉海町地域おこし協力隊  
令和2年、東京都より移住

#### 自分の得意分野を活かして 大島の皆さんへ恩返しを!

私が協力隊に応募したのは、瀬戸内しまなみ海道でサイクリングを体験し、大島に惹かれたことがきっかけ。現在は得意の格闘技を活かして、キックボクシング・グラップリングの教室を開催し、地域の皆さんの健康づくりに努めています。任期はあと1年ですが、来年から大島で「介護タクシー&困りごとお

手伝いサービス」も開業する予定。活動を通して、自ら考えて行動するなど、自身の成長も感じています。移住者である私をやさしく受け入れてくださった島の皆さんのお役に立てるよう、がんばります!

「GRABAKA (グラバカ) 今治・大島」を開催。「大島へ来られたら、体験してみてください」



まつもと あやの  
松本 綾乃さん  
松野町地域おこし協力隊  
令和3年、神奈川県より移住

#### 「ここに住みたい」と感じて 松野町への移住を決めました

オンライン移住相談に参加し、松野町職員さんの「松野町でなくてもいい。ただ松本さんが本当に住みたいと思う場所に行ってください。自分のことをしっかり考えて選んでください。」という言葉に導かれ、移住しました。今は道の駅の運営や、町が推進している高齢者向けの体操指導等のお手伝いを中心に活動

しています。最近、「松本さん、意外と熱いよね。」と言われるようになり、町への想いが強くなってきたと感じています。自分も楽しみながら、町の皆さんに「やっぱり松野町やな!」と感じていただけるまちづくりが目標です。

お年寄りの皆さんと一緒に楽しく体操しています。



### えひめに定住しました! 地域おこし協力隊OB・OG



ふじおか けいた  
藤岡 慶太さん  
東温市地域おこし協力隊OB  
地域コーディネーター、「駅と珈琲」店主 平成29年、大阪府よりUターン移住 (松山市出身)

#### 地元でがんばる人と一緒に 東温市を盛り上げていきたい

任期中は「横河原ぶらっとHOME」を拠点に、東温市に関する情報発信やイベントの企画を通じて、市のPRや交流人口を増やす活動を行っていました。地元の方々とながら、地域が盛り上がっていく流れが感じられたため、任期後の移住を決意。東温市は自然も多く、ほどよく田舎で住みやすいです。現在はコーヒー

と古本の店「駅と珈琲」を営みながら、横河原ぶらっとHOMEの施設運営や地域学校協働活動、県の移住促進などの仕事を兼業。任期中の活動も継続しています。各地の隊員たちの活躍で、えひめ全体が盛り上がることを期待しています!

コーヒーと古本の店「駅と珈琲」を営んでいます。



おおくぼ れいか  
大久保 玲香さん  
伊方町地域おこし協力隊OG  
柑橘農家、鳥獣管理専門員  
平成30年、三重県より移住

#### 柑橘農家と鳥獣管理専門員の 二足のわらじで奮闘中!

夫が伊方町で柑橘農家になるための研修を受けていたので、私も地域のことや柑橘について学びたいと思い、地域おこし協力隊に。任期中は特産品を使った加工品や郷土料理を地域の女性たちとつくり、町外でのPRや学生さんへの伝承活動を行いました。また狩猟免許を取得したのち、鳥獣管理専門員

に。定住後も柑橘を育てるかたわら、地域の方と協力しながら鳥獣害対策に取り組むなど充実した日々を送っています。協力隊経験者としては、定住したいと思えるサポートや環境づくりを行政や地域の方にもお願いしたいと思っています。

地元の人と協力して箱わなを設置しています。



### 隊員たちの活動パワーの源は 地域の人たちの協力と応援

地元で暮らす隊員たちとワクワクする地域づくりを  
地域を変える新しい力になろうとする隊員たち。そんな彼らの活動パワーの源は、地域の人たちの協力や応援です。日頃のあいさつや地域イベントなど、積極的なコミュニケーションを重ねることで、隊員はより地域に密着して活動することができまます。ぜひ地域と一緒に盛り上げましょう!

任期終了後は、任期中に得た人脈や地域資源を活かし、仕事をする人が多数います。愛媛の協力隊は年々増加し、定住率は全国トップクラス。「ふるさとを元気にしたい」という思いを持つ地域住民と協力隊との取組は県内各地に広がっています。県では協力隊のOB・OGネットワーク組織と連携し、協力隊の導入・活動定住のサポート体制を整備。新たな人材の活力が、さらに地域と関わる人を増やしていく好循環を生み出すよう努めています。

## TOPICS

### 現役隊員を県内のOB・OGたちがサポート! 「一般社団法人えひめ暮らしネットワーク」



えひめ暮らしネットワークは、協力隊のOB・OGらが運営する組織。移住促進などの業務を行うほか、協力隊と行政とのつなぎ手(中間支援組織)として、県と連携しながら、協力隊や市町へ丁寧な支援・フォローを行っています。

